

【第26回 患者会 活動報告】

しまうまサークル@関西 第26回患者会

～がん（NEN）医療講演会～

日時：2018年6月9日（土）午前10時00分～16時半

場所：京都商工会議所 第一教室&第二教室

参加：患者、35名、ご家族、14名、製薬会社、1名、看護師2名、行政関係者、1名、一般人2名、共催企業、1名、講師2名の計58名でした。

独立行政法人国立病院機構京都医療センター 院長 小西 郁生先生と関西電力病院神経内分泌腫瘍センター センター長/学術顧問 今村 正之先生による講演でした。

小西先生からは「婦人科の神経内分泌腫瘍について」というテーマで、非常にたくさんのスライドをご準備いただき、お話を伺いました。婦人科の神経内分泌腫瘍は、患者向けの講演会は日本では初めてということもあり、婦人科の会員ほぼすべて、参加いたしました。（別紙報告書参照）

今村先生からは「消化器NETの治療」というテーマでNETの基本から最新の治療法まで幅広く病気について、詳しくお教えいただきました。

（別紙報告書参照）

午前中は、患者のみでおおきく膵臓グループとその他のグループに分かれてお互いの自己紹介をしたり、治験の話やお薬の副作用などの情報交換をしました。

参加人数が、ぎりぎりまで確定できず、マイク使用は3教室以上借りないと使えなかったのが、アンケートには声が聞きとりにくかったとのご意見が多くありました。予算もあり、今後の課題であります。またレジュメもカラー印刷はコストがかかるのですが、当日参加の方も足りなくて、カラーのレジュメを全員にお配りできなかったことも反省点です。

夕刻からは、有志で懇親会を開催しました。京都駅前新阪急ホテル「美濃吉」で京料理をいただきながら、今村先生や小西先生と親睦を深めました。

先生との懇親会は、いつも満席となるので今後は会場選びなど工夫したいと思います。たいへん盛会で好評に患者会を終わりました。😊😊❤

【患者交流会風景】



【講演会風景】

